

平成22年度いわき地方農業技術情報(第3号)



平成22年5月28日
福島県いわき農林事務所
いわき市
J A いわき市
J A いわき中部
いわき市農業共済組合

低温に関する農作物の技術対策

【今後の気象予報】

平成22年5月26日、福島地方气象台から「低温に関する福島県気象情報 第1号」が発表されました。福島県では、今後2週間程度は気温の低い状態が続き、特に今後1週間程度は、日平均気温が平年より4℃前後低い続く見込みです。農作物の管理等に注意しましょう。

【水稻】

1 移植水稻（水管理）

- (1) 分けつ期の水管理は、3cm程度の浅水管理としますが、低温・強風時には苗を低温から保護するため、深水管理をしてください。また、温暖な日には、間断灌漑を行いましょう。
- (2) 水管理は、昼止め水、夜間灌漑とし、水温上昇による分けつ促進に努めましよう。

2 移植水稻（病虫害対策）

補植用の置き苗は、葉もちの発生源になるため、早急に廃棄処分ましよう。

【野菜】

1 ねぎ

- (1) 育苗時の低温の影響で、苗が平年と比べると細くなっています。太さを確保するため、定植後の土入れは少量多回数で行ってください。
- (2) 低温多湿が続くと、べと病やさび病の発生が多くなります。ほ場の排水対策を徹底し、晴れ間を見つけて薬剤の予防散布を行いましょう。

2 さやいんげん

- (1) 日照不足により地温上昇が妨げられると、定植後の活着の遅れにつながります。さやいんげんの根は乾燥、湿害に弱いので、活着の遅れが予想される場合には注意ましよう。
- (2) 低温多湿が続くと、菌核病や灰色かび病が発生しやすくなります。ほ場の排水対策を行うとともに、降雨前の薬剤予防散布を行いましょう。

3 アスパラガス

- (1) 低温時には若茎の伸長が遅くなりますが、梅雨入り前に株当たり5本の立茎数を確保ましよう。立茎する茎径は1.5~2.0cmを目安にまします。
- (2) 降雨が続くと、茎枯病の発生が心配されます。排水対策、風害対策を実施のうえ、薬剤の予防散布を行いましょう。

4 いちご（ポット育苗）

- (1) 急な晴天で、ハウス内温度が急激に上昇するとランナー先端の焼けが発生するので、十分なかん水と換気を徹底し、寒冷紗による遮光を行ってください。
- (2) 炭そ病、うどんこ病の定期的な防除を実施してください。（2週間間隔）

5 トマト

- (1) ハウス栽培で日照が不足すると、地温の低下や着色遅れによる収穫遅れのため、着果負担の増大が心配されますので、不良果の早期摘果を行い草勢低下を防ぐとともに、果実を覆っている葉を除去して果皮に光を当て着色を進めましょう。また、日照不足による芯の伸長遅延には、薄めた液肥の葉面散布を行いましょ。
- (2) 低温多湿が続くと、灰色かび病が発生しやすくなりますので、ハウス内の換気に努め、病害の発生源になる花かすや枯葉、痛んだ葉等を除去して風通しを良くしてから、予防散布を行いましょ。

6 きゅうり

- (1) 日照不足により、草勢が低下する場合があります。このような場合、不良果の早期摘果を行い草勢低下を防ぎましょ。また、日照不足により地温が上がらず根の動きが緩慢となり吸肥力が落ちる場合は、薄めた液肥の葉面散布を行いましょ。
- (2) 低温多湿が続くと、菌核病や灰色かび病が発生しやすくなりますので、ハウス内の換気に努め、病害の発生源になる枯葉や痛んだ葉等を除去して風通しを良くしてから、予防散布を行いましょ。

【果樹】

1 新梢管理

低温により新梢伸長が抑制される恐れがありますので、伸ばしたい新梢の生育を促すよう新梢管理を実施してください。

(1) 日本なし

- ア 不定芽新梢が混み合っている場所は、2～3本に整理します。ただし、樹勢が弱い場合に過度な新梢をせん除すると、さらに樹勢を低下させるので注意してください。
- イ 夏季せん定の適期は、満開後4～5日頃（6月中旬頃）までです。この時期以降に行うと、樹勢を低下させてしまうので注意してください。
- ウ 予備枝の新梢を複数残している場合は、風による折損の恐れがなくなる6月上旬頃を目安に、伸びの良い方の新梢を一本残し、残りの新梢はせん除ましょ。

(2) いちじく

芽かきは、できる限り早めに行ってください。ただし、芽の生育に応じて2回（強樹勢の場合は3回）に分けて実施ましょ。また、副梢は、時期が遅れないよう見つけしだい取り除いてください。

2 病虫害防除

黒星病の感染・発病は、低温・湿潤条件で助長されます。散布間隔が開いてしまうと黒星病を始めとした病気に感染する恐れがあるので、定期的な散布に留意してください（日本なしの場合は散布間隔が7～10日以上開かないように）。また、低温により害虫の発生時期が例年より遅れることがありますので、殺虫剤は、害虫の発生状況に応じて散布してください。

3 排水対策

いちじくでは、園周囲にできるだけ深い溝を掘り、園内に水が溜まらないようにしてください。特に、水田転換畑は必ず実施してください。